

(仮称) 河芸こども園の整備について

令和2年8月20日

津市健康福祉部 子育て推進課



津市におけるこれまでの取組

計画	取組
津市子ども・子育て支援事業計画 (平成27年度～令和元年度)	<p>保育ニーズの高まりに対応するため保育提供量の拡大への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立保育所の施設整備 ・私立幼稚園の認定こども園への移行支援 ・公立の保育所及び幼稚園の一体化による認定こども園の整備 <p>一方、公立幼稚園（国立幼稚園を除く。）の園児数の更なる減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育に必要と考える適正規模（20人程度）の集団の確保・維持の取組 <p>※一部の施設においては、適正規模の集団の確保に至っていない。</p>
第2期津市子ども・子育て支援事業計画 (令和2年度～令和6年度)	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>園児数の減少した公立幼稚園については、地域の実情に応じて、次の取組を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の幼稚園との統合による閉園 ・近隣の保育所と一体化した認定こども園への移行

河芸地域における就学前の子どものための施設の状況

種別	園数	施設名
公立保育所	2園	千里ヶ丘保育園、上野保育園
私立保育所	1園	さくら保育園
私立幼保連携型認定こども園	3園	認定こども園杜の街ゆたか園、認定こども園みらいの森ゆたか園、ゆたか認定こども園
公立幼稚園	4園	豊津幼稚園、上野幼稚園、黒田幼稚園、千里ヶ丘幼稚園

津市及び河芸地域の就学前子どもの推移と推計

●推移

各年度 3月31日現在 (人)

	H22年度③	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度④	R1-H22	⑥/⑤
津市全体	15,024	14,834	14,680	14,532	14,253	13,872	13,706	13,339	13,109	12,843	▲ 2,181	85.5%
河芸地域	1,113	1,122	1,095	1,075	1,043	1,012	992	986	997	977	▲ 136	87.8%

●推計

(人)

	R2年度④	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度④	R11-R2	⑥/⑤
津市全体	12,607	12,437	12,236	12,041	11,839	11,651	11,420	11,190	10,967	10,751	▲ 1,856	85.3%
河芸地域	971	963	947	935	931	918	905	890	875	861	▲ 110	88.7%

【資料：第2期津市子ども・子育て支援事業計画から抜粋】

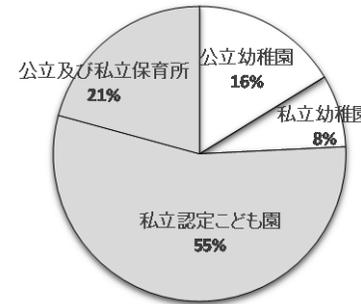
河芸地域における教育・保育施設利用者の利用状況

●利用状況 (令和2年6月1日現在)

❖河芸地域は、保育ニーズの高い地域である。

幼稚園利用者：約 24%

保育所等利用者：約 76%



【参考】

他地域における利用状況の平均

幼稚園利用者：約 30%

保育所等利用者：約 70%

上野幼稚園及び豊津幼稚園並びに上野保育園の園児数の推移

幼稚園：各年度 5月1日現在、保育所：各年度 4月1日現在 (人)

	定員	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2-H28	R2年度 就園率
上野幼稚園	60	21	14	11	6	5	▲ 16	8.3%
豊津幼稚園	60	15	9	9	10	7	▲ 8	11.7%
上野保育園	65	59	57	52	53	50	▲ 9	76.9%

上野幼稚園及び豊津幼稚園の園児数の推計

(人)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R11-R2
上野幼稚園	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	1
豊津幼稚園	7	7	8	8	8	8	7	6	6	6	▲ 1

※令和3年度以降の園児数は、各3年間（H30～R2年度）の市全体の出生児数に対する当該幼稚園の入園割合を令和3年度以降の市全体の出生数に当てはめて算出したもの

課題と対応策

本市の公立幼稚園の状況を見ると、ここ数年間で園児数の減少により、休園を経て閉園となっている現状があります。河芸地域の上野幼稚園及び豊津幼稚園においても園児数の減少は著しく、平成30年度からは少人数の学年を混合して学級を編制するなどの対応をしてきましたが、令和2年度は園児数がそれぞれ5人及び7人となり、各幼稚園単独では運営が困難な状況となっています。

しかし、上野地区及び豊津地区においては、適正規模の集団を前提に長年の経験や実績に培われた公的な幼児教育に期待して公立幼稚園を希望する保護者ニーズがあることから引き続きこれらのニーズにしっかりと対応していく必要があります。このことから千里ヶ丘地区及び黒田地区を含めた今後の河芸地域全体での幼児教育・保育の提供体制について当該地域内の民間施設との両立を基本に、集団としての学びを保障し、質の高い幼児教育を行うための方策として、上野幼稚園及び豊津幼稚園と上野幼稚園に近接した上野保育園を一体化した認定こども園として整備することとします。あわせて、認定こども園へ移行することで、幼児教育・保育の提供環境を改善しつつ、地域の子育て支援の拠点として持続的な運営が可能な体制を整えます。

(仮称) 河芸こども園の運営・管理等

(1) 教育及び保育の提供体制

- ・多様な生活リズムの子どもが共に過ごす環境の中で、より子どもが相互に学びを豊かにしていく幼児教育・保育の提供環境の確保
 - ・0歳から5歳までの連続した育ちや学びを支える体制の構築
 - ・支給認定の区分に関わらず保護者の就労形態等に応じて子どもへの一体的な教育・保育を提供
 - ・3歳児保育、預かり保育など保護者ニーズにも対応
 - ・これまで公立幼稚園で行ってきた地域の教育力を活かしたゲストティーチャーの活用など地域に密着した教育課程
 - ・外国につながる子どもや特別な支援を要する子ども等の受入れなど幅広い行政機関との連携機能を生かした教育実践
- ▶地域における公的な教育機関としての役割を引き続き果たしていきます。

(2) 認定こども園の運営形態

現
状

【豊津地区】

豊津幼稚園は、豊津小学校の敷地内に立地しているため連携が容易であるものの当該小学校を取り巻く様々な課題がある。

- ▲小学校の運動場が狭小
- ▲小学校の駐車場の不足
- ▲隣接する石碑の安全対策を講じる必要があることなど

【上野地区】

- 上野保育園及び上野幼稚園が交流を密に行うなど幼保連携の体制が整っている。
- 隣接する上野小学校とも連携が容易。
 - ▶乳幼児教育から小学校教育までの連続性を見据えた施設運営を図ることができる。

一体化施設を上野地区に設置

現行の「上野保育園舎」▶

現行の「上野幼稚園舎」▶

(仮称) 河芸こども園

「乳児棟 (0歳児～2歳児)」

「幼児棟 (3歳児～5歳児)」

認定こども園への移行に必要な改修に併せて、施設の長寿命化のための改修も行います。

【上野保育園】

現状、2歳児と3歳児が遊戯室で生活している

- ・子どもの保育環境の改善・充実
- ・地域における子育て環境への支援

子育て支援室を新たに確保する



- ・先に開園した5か所の公立認定こども園の運営実績
- ・職員間の十分な連携
- ・園庭の保育環境の充実
- ・園児の異年齢交流の機会を充実
- ❖認定こども園としての施設内の一体感の醸成に留意し、子どものための幼児教育・保育の提供環境の向上を図ります。

(3) 利用定員の設定

現行の利用定員

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
上野保育園	3号認定	5	5	12	—	—	—	22
	2号認定	—	—	—	13	15	15	43
上野幼稚園	1号認定	—	—	—	—	30	30	60
豊津幼稚園	1号認定	—	—	—	—	30	30	60
計		5	5	12	13	75	75	185
黒田幼稚園	1号認定	—	—	—	30	30	30	90
計		5	5	12	43	105	105	275

利用定員(案)

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	現行の利用定員からの増減
(仮称) 河芸こども園	3号認定	6	10	12	—	—	—	28	6
	2号認定	—	—	—	15	15	15	45	2
	1号認定	—	—	—	15	15	15	45	▲75
計		6	10	12	30	30	30	118	▲67
黒田幼稚園	1号認定	—	—	—	15	15	15	45	▲45
計		6	10	12	45	45	45	163	▲112

出身校区別の園児数

令和2年6月1日現在(人)

幼稚園名	学年	R2年度 園児数	出身校区				
			上野地区	豊津地区	黒田地区	千里ヶ丘地区	その他
上野幼稚園	4歳児	3	3	0	0	0	0
	5歳児	2	2	0	0	0	0
豊津幼稚園	4歳児	4	0	4	0	0	0
	5歳児	3	0	3	0	0	0
黒田幼稚園	3歳児	16	2	3	3	7	1
	4歳児	13	2	1	7	0	4
千里ヶ丘幼稚園	5歳児	15	2	2	10	0	1
	4歳児	14	0	0	0	14	0
千里ヶ丘幼稚園	5歳児	20	0	0	0	20	0
	4歳児	14	0	0	0	14	0

(仮称) 河芸こども園

❖ 1号認定子どもの3歳児の利用定員を設定

- ・ 2号認定子どもの保護者の事情等によって支給認定区分を変更する場合でも、退所せずに継続利用することができる

❖ 1号認定子どもの3歳児から5歳児までの各学年とも15人

- ・ 上野幼稚園及び豊津幼稚園の利用実績
- ・ 上野地区及び豊津地区における公的な幼児教育に対するニーズ
- ・ 当該地区の私立保育所及び認定こども園との両立

❖ 2号及び3号認定子どもの利用定員の拡大

- ・ 年度途中に発生する待機児童に対応するため、受入体制の充実を図る。

黒田幼稚園

❖ 3歳児から5歳児までの利用定員をそれぞれ現行の30人から15人へ縮小

- ・ 河芸地域全体の1号認定子どもの利用定員を考慮

(4) 食事の提供

現状

園名	提供方法
上野保育園	自園調理
上野幼稚園	上野小学校で調理した給食を搬入

移行後

園名	区分	施設	平常時	学校調理の休止日 (土曜日及び夏季休業期間中など)
(仮称) 河芸こども園	0～2歳児	乳児棟 (現上野保育園)	自園調理 (乳児棟で調理した給食)	
	3～5歳児	幼児棟 (現上野幼稚園)	上野小学校で調理した給食を搬入	乳児棟で喫食

今後の対応

(仮称)河芸こども園の整備について、上野地区及び豊津地区の住民、上野幼稚園及び豊津幼稚園並びに上野保育園のそれぞれの保護者、関係団体等に広く説明し、御意見を頂きながら、適宜調査及び設計等に係る経費の予算対応への準備を進め、令和4年4月の開園を目指します。

また、豊津地区の教育施設の活用方法について、地域におけるコミュニティ空間を設置すること、小学校運動場を拡張すること、駐車場不足を解消すること、隣接する石碑の安全対策を講じることなど教育施設環境を一体的に整備することで、地域に有効活用していただける方向性を提案し、地域からの意見や要望を十分に聞き取り、検討を行っていきます。